



こいた ばし ひさし
小坂橋 尚
議員

Q A E D設置状況は

A 村内の主要施設に設置

問 村内における学校、役場、各施設等に設置されているAEDについて伺います。

答 学校教育課長 各小中学校や幼稚園でも野外行事の際に本部席に置き、また、プール指導の際には緊急時にAEDを持って現場に駆け付けることが共通理解されています。さらに職員向けにAEDを使用するための講習を年に1回実施しています。

AED設置数と経費は

答 総務課長 設置台数は村内全体で44カ所、48台、年間196万4622円のリース契約になっています。イベントでは、万が一事故が発生した際にAEDを施設外に持ち出し、使用可能な体制を整備しています。

ブドウ園の活性化は

問 ぶどう郷の県内市町村へのさらなる積極的PRはしていますか。

答 産業振興課長 上毛新聞、フリーペーパーへの掲載やSNSでの周知に加え、新たな試みとして、ぶどう郷PR動画を作成しています。

問 農業経営者に対して、風水

害や猛暑等における農作物、施設等の被害発生時、補償の保険はありますか。

答 産業振興課長 災害発生時、農作物に平均の30%以上の減収、農地面積10ha以上、施設に10万円以上、戸数10戸以上の要件を満たす場合、群馬県農業災害対策特別措置条例及び榛東村農業災害対策特別措置条例が適用されます。



しんとう総合グラウンドに設置のAED

本村は消滅可能性自治体か

問 村として人口減少への歯止め対策の考えはありますか。

答 企画財政課長 日本創成会議が定義した「消滅可能性自治体」に村は該当していません。村の人口推計については、国立社会保障人口問題研究所の推計（平成30年3月公表）は、2020年は1万4146人で、1万4146人以上の調査人口は1万4216人で予測までの人口減少とはなりませんでした。村の人口減少対策としては、第6次榛東村後

期総合計画に掲げる3つの重点目標である、①子どもたちを、生き生きと健やかに安心して育てられる村。②つながりを大切にし、集う人が安心して暮らせる村。③地域の産業を育み、安心して働ける村。を目指し、各種施策を展開しています。今年度からは、保育料および学校給食費の無償化を図り、子育て環境を整備しました。DXを活用し、村の魅力や観光PR等の情報発信を強化し、村の公式LINE事業は10月からスタートです。

村政を聞くべえ

5人が一般質問

一般質問とは

定例会において議員が行政全般にわたり村長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来に対する方針などについて質問し、報告・説明を求めることをいいます。なお、効率的かつ充実した議会運営を行うため、あらかじめ通告することになっています。

小坂橋 尚 議員

P11

- 1 AED設置数と経費は
- 2 ブドウ園の活性化は
- 3 本村は消滅可能性自治体か

齊藤 将史 議員

P14

- 1 残業時間、休日出勤の状況は
- 2 有給休暇及び連続休暇の取得は
- 3 業務改善の導入は
- 4 業務改善の取り組みは

波多野佐和子 議員

P12

- 1 榛東村手話言語条例制定後の取り組みは
- 2 南新井前橋線バイパス開通を見据えて
- 3 住民生活の充実

清水 健一 議員

P15

- 1 高齢者支援は
- 2 認知症対策は
- 3 不登校支援は
- 4 学校での熱中症対策は

須田 仁美 議員

P13

- 1 子ども食堂への支援は
- 2 介護者・家族の支援は
- 3 ミネラル豊富な天日塩を学校給食に
- 4 長期休みのみの学童保育所利用受付を

紙面の都合により、質問の内容を要約してあります。詳細は、榛東村議会のホームページに掲載します。

榛東村議会

クリック



上記のQRコードを読み取ると「一般質問通告一覧表」のページが開きます



9月2日 開会初日



はたのさわこ
波多野佐和子
議員

**榛東村手話言語条例
制定後の取り組みは**

Q 手話言語条例制定後の取り組みは
A ブルーライトアップを実施します

問 インクルーシブな社会を実現するために、幼稚園生、小中学生は福祉教育をどのように学んでいますか。

答 健康保険課長 幼稚園では手話を取り入れた歌の発表をしています。小学校では、榛東村社会福祉協議会の協力により、福祉講話や車椅子バスケットボール教室、盲導犬体験、手話教室を実施しています。中学校では、特別養護老



ブルーライトアップされた役場庁舎

**南新井前橋線バイパス
開通を見据えて**

問 ふるさと公園のふるさと館やそのほかの建物を今後どのように活用していきますか。

答 産業振興課長 春・夏のお祭りなどを周辺施設と連携して進めていきますが、建物の老朽化により、大規模改修など検討が必要な時期であると認識しています。

問 群馬県の優良県産品推奨制度のような制度を村も導入してはどうですか。

答 産業振興課長 村長がマニユフェストに掲げた榛東村特産品認定制度の導入に向け、研究を進めているところです。

住民生活の充実

問 しんとう温泉ふれあい館の役割はなんですか。

答 住民生活課 住民の福祉の増進を図るため、子どもから高齢者まで利用でき、ふれあいと健康増進を目的としたコミュニケーション施設です。

問 壊れたシャワーを使えるようにしてもらいたいという、住民からの要望に対してどう答えますか。

答 住民生活課長 財政状況の大幅な改善の中で、多額の費用を要する抜本的な大改修でなく、必要に応じた改修の検討を始めています。

問 プラごみの収集日数が少ないとの住民の声に、どう答えますか。

答 住民生活課長 月2回での収集は十分かと村長の指摘があります。状況により見直すことになっていきます。

問 郵便物を出すことが困難な住民への対応を教えてください。

答 総務課長 新たな交通弱者対策として榛東村公共交通等検討委員会を設置し、村にとって最適な地域交通システムデマンド型交通の検討を進めています。

Q 子ども食堂への財政的支援は
A 運営費補助や活動紹介など



すだひとみ
須田 仁美
議員

子ども食堂への支援は

問 子ども食堂を運営する団体などへ、財政的支援や情報発信などの支援を行う考えはありますか。

答 住民生活課長 運営費補助等の支援は行っていますが、フードドライブでは子ども食堂の食材等の寄附を受け付けています。他町村では、食材費や光熱水費に対する補助金を交付しているなどの事例もあります。村においても、他町村の事例を参考に研究していきたいと考えています。

介護者・家族の支援は

問 介護者としての家族の相談窓口はありますか。

答 介護者同士が交流し、分かち合える場などの取り組み



エコフェスタでフードドライブ

問 健康保険課長の介護者からの相談は随時、地域包括支援センターで受け付けています。介護者支援としては認

答 健康保険課長 知症サポーターの協力のもと、南部コミセンと楽集センターで開催している、認知症カフェにて介護者の集いを実施しています。

**ミネラル豊富な
天日塩を学校給食に**

問 精製塩は、塩化ナトリウムを濃縮して作られるため、天日塩にはあるはずのミネラルが損なわれています。

答 学校給食で使用している食塩については精製塩、天日塩どちらでしょうか。また、精製塩を使用している場合、天日塩10

**長期休みのみの
学童保育所利用受付を**

問 北小学校区に1施設増設を検討中とのことですが、長期休みのみの利用希望者も通年でないと入所できない状況にあり、年間を通しての定員超過に繋がります。通年でなくてもよいというご家庭の調査と併せて、長期休みのみの保育が可能かどうか調整していただきと思いますが、可能ですか。

答 住民生活課長 休み期間中に限った学童保育所の利用は、利用規約上は定員に余裕がある

問 場合により受け付けています。年度当初から定員を若干超過している状態が続いており、現在は受け付けをしていません。まずは通年での利用を希望する児童が全員入所できるように、関係機関と協力して取り組んでいきたいと考えています。

答 学校教育課長 学校給食では天日塩を使用している場合、令和5年度は、精製塩を年間36キロほど購入しました。精製塩と天日塩の差額は9216円程度になります。





さいとう まさし
齊藤 将史 議員

残業時間、休日出勤の状況は

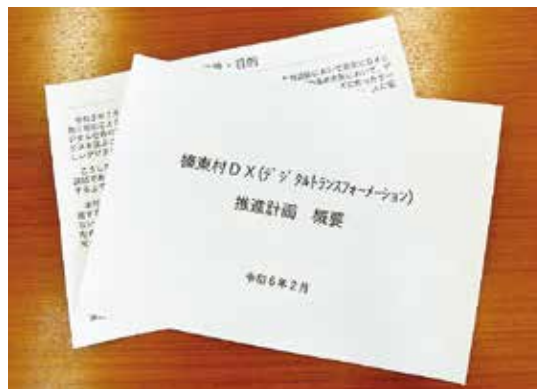
問 職員の残業時間、休日出勤の状況はどうなっていますか。

答 総務課長 残業時間は、労働基準法の規定の下で、令和5年度は一人当たり月平均16時間でした。また、休日出勤は給与に関する条例、規則の下、時間外手当等が支給されています。

有給休暇及び連続休暇の取得は

問 職員の有給休暇及び、連続休暇の取得状況を教えてください。

答 総務課長 令和5年度の有給休暇の平均取得日は、約12日で、前年比3日増加しています。夏季連続休暇の取得は2日が23人、3日は3人でした。通常の連続休暇は、2日が19人、3



会議で配布された資料

問 業務改善の現在の取り組みは何ですか。

答 総務課長 新たな課長補佐の配置による組織強化や専門知識の修得、他自治体とのネットワーキング構築のために、職員を県庁などに派遣しています。

業務改善の取り組みは

問 業務作業マニュアルにはどのようなものがありますか。

答 総務課長 文書事務、法規事務、会計事務があり、事務的なマニュアルは、事務的なサービスを体系化したもので、よりよいサービスの提供を目的に作成されているため、必要に応じて修正、改訂をしています。

業務改善の導入は

問 行政業務改善ソフト導入状況はどうなっていますか。

答 総務課長 平成29年2月にソフトを導入しています。相互データ転送や情報共有が可能となり、業務の改善、効率化を実現しています。他にも施設の予約管理、簡易的な決裁文書は、電子決

Q 軟骨伝導イヤホンの導入を

A 翻訳機を活用していきます



しみず けんいち
清水 健一 議員

高齢者支援は

問 高齢者や難聴者との円滑なコミュニケーションをとるため、プライバシーの配慮、窓口の混雑緩和に効果的な、軟骨伝導イヤホンを導入する考えはありますか。

答 健康保険課長 今年度から、高齢者の補聴器購入費用の2分の1、上限額は5万円を補助しています。8月末までに3件の方が利用されています。窓口では、住民生活課で利用している翻訳機を活用するなどして丁寧な対応をしていきます。

認知症対策は

問 認知症に対する社会の備えがまだ不十分だと考えます。県と連携して広報活動に取り組む考えはありますか。

答 健康保険課長 村ホームページの認知症施策のページに、県ホームページのぐんま希望大使の動画が見られます。



翻訳機を窓口で活用

不登校支援は

問 不登校の児童生徒全ての学びを確保し、学びたいと思った時に学べる環境を整えることだと考えます。各学校に教室（教育支援

答 学校教育課長 センター）を整備する考えはありますか。

問 不登校の原因、背景が多岐にわたることを踏まえて、適切に児童生徒

学校での熱中症対策は

問 近年、学校行事や運動中の熱中症事故が頻発しています。学校での熱中症対策の現状を、教えてください。

答 学校教育課長 それぞれの学校で作成している熱中症ガイドラインを活用して、熱中症の予防対策や発生時に活用して、熱中症の理解をし、適切に対応しています。具体的には、行事や活動

に係る情報収集と分析を行い、支援の目標や方針を定め、専門家や関係諸機関とも連携し、児童生徒の状況に応じた具体的な支援に努めたいと考えています。不登校の児童生徒のニーズを探りながら、個に応じたきめ細やかな学びの場を提供しています。不登校児童生徒の居場所の一つとして、文部科学省の教育支援体制整備事業費補助金を利用して、市内の各小中学校に校内教育支援センターの開設に向けて準備を進めています。

の計画を柔軟に編成し、暑い時期、暑い時刻、暑い場所を避けて活動を実施しています。また、WBGT指数を定期的に測定して、指数に応じて熱中症予防対策をとるよう、発達段階に応じて適宜働きかけています。